

上志津まちづくりだより

発行責任者：会長 苅宿 務

編集：広報部会

令和7年3月

第36号

上志津まちづくり協議会主催

合同防災訓練

2024年11月17日（日）上志津まちづくり協議会主催の合同防災訓練を上志津小学校で行いました。

今年の訓練には、まち協を構成する15自治会から123人が参加。全体を8つの班に分けて、消火器、AED取扱、テント張り訓練のほか、防災用品、非常用トイレ、防災井戸、備蓄倉庫の確認を行いました。

下水管に直結できる非常用トイレや、普段使用することはありませんが防災目的に確保されている井戸水、佐倉市が最低限蓄えている備蓄倉庫など、訓練の時にしか見たり触ることができない設備を点検できる貴重な機会になっています。

今回の参加者はコロナ前の半数に満たない程度。昨年も参加者が少なく、少しでも参加者を増やすために事前の参加声かけなどを行いました。今回は社協の福祉まつりと日程が重なったこともあり、思ったほど参加者が増えませんでした。

2025年度の合同防災訓練も11月に実施を予定しています。近所の皆様とお声掛けのうえ参加していただき、日頃から訓練を積み重ねることで有事に備えていただきたいと思います。



上小まつり



2024年11月30日（土）、上志津小学校にて上小まつりが開催されました。

昨年度まではコロナ禍で中止、縮小、オンラインなどで開催しており、数年ぶりの通常開催となりました。

当日は晴天に恵まれ、久しぶりに子どもたちや近隣住民の方々の楽しげな声が響いていました。

午前中保護者参観と給食を終えた子どもたちは一旦帰宅した後、13時半のスタートに合わせて続々と学校に集まってきました。

まつりのスタートに相応しいなかよし太鼓の演奏から始まり、上小まつり企画隊からはワッフル、大学芋、ミルク大福、ココアやコーヒーなどの飲食と輪投げ、飛行機作りなどのゲームの出店、上小サポーターズからはまとあて、宝石すくい、ガチャくじ、フランクフルトと飲みものなどの出店、まち協からは餅つきの出店があり、大いに盛り上がりました。

16時までの2時間半、どの場面を切り取っても子どもたちの笑顔がありました。

人と人との交流が思うようにできなかった数年間を思うと、やはり直接交流ができるイベントは年代問わずたくさんの方とのふれあいがあり、感動するシーンが多くありました。

大根収穫（12/21・2/1 活動）

12月21日（土）と2月1日（土）に上志津小学校敷地内にある『上志津まち協ファーム』にて育てていた大根と、かぶの収穫を行いました。

強力大根・おでん大根・サラダかぶの3品種を10月14日（月・祝）に植え付けを行っていたものです。

12月は大根のみの収穫でしたが、予想より小ぶりな大根で半分は残し、2月にかぶと一緒に大根の残り半分の収穫を行いました。

かわいらしい大根とかぶでしたが、甘みがありとても美味しかったです。

皆様、じゃがいもからの準備・メンテナンス・収穫と一年間お疲れさまでした。



なかよし太鼓

3月2日（日）西志津スポーツ等多目的広場で開催された第16回西志津河津桜まつりに参加したなかよし太鼓の演奏を聴いてきました。

直前の練習にもお邪魔させて頂きましたが、やはり本番での演奏は皆さんの気合も入り練習とは一味違った迫力のあるものでした。

なかよし太鼓は井野小学校、上志津小学校の児童、OBOGを中心に下は2歳から上はベテランまで幅広い年齢層のメンバーが活躍しています。

この日デビューしたメンバーも数名おり、活躍の幅がどんどん広がっていくことが期待されます。

なおご興味のある方は見学体験を 090-3231-3938（矢本） nakayoshidaiko@gmail.com で受け付けておりますのでお気軽にお問い合わせください。



訃報

上志津まちづくり協議会の初代会長、蕪木昭夫様が2024年10月に逝去されました。

ローズタウン自治会の代表だった蕪木様は、平成25年6月22日に発足した上志津まちづくり協議会の会長に就任し、「住民の親睦、交流を深め、地域全体の絆がもてる事業」を目的に据えて、上志津地区をより住みやすい街にしていくために、防災・防犯・文化の各事業の陣頭指揮を執られました。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

上志津まちづくり協議会としても、蕪木様の意思を受け継ぎ「活動を通して、心と心を結び合い、地域住民が安心して暮らせる"まちづくり"を目指して」今後も活動してまいります。